

株式会社 イグナルファーム



1 現在の経営内容等

(1) 経営理念、キャッチフレーズ等

- 「共にイグナル」
- 1.お客様と共に
 - 2.地域と共に
 - 3.自然と共に
 - 4.社員と共に
 - 5.会社と共に

未来はきっとイグナル

(2) 栽培技術の特長

- こだわりの自家製堆肥を施用する等土作りを行いながら、きゅうりとトマトを輪作体系とした養液土耕栽培を行っている。また、交付金事業で整備した低コスト耐候性ハウスには、屋根と側面に2層構造を持たせる等省エネにも取り組んでいる。
- 新たに整備したいちごハウスにおいては、ヤシガラ培地の養液栽培を行い、電照には赤色LEDを設置し、最新のユビキタス環境制御システムを導入している。

(3) 販売の特長

販売先はJA系統市場出荷のほか、営業活動で広がってきた大手コンビニエンスストアやスーパー、漬物加工業者等に直販も行っている。

(4) 経営組織の特長

農産物の安全管理のあり方を客観的視点に入れて、より信用いただけるものとすべく、国際的にも通用す

るものを目指し、グローバルGAPを取得した。

(5) 労務管理の特長

- 従業員自らが作業マニュアルを作成する等、将来的に当社から自立して営農ができるような人材育成に努めている。
- グローバルGAPに取り組むことで、作業内容記録の徹底や危害防止等の意識向上につながっている。

(6) 経営管理の特長

- 栽培ほ場が数か所にあることから、各ほ場ごとに出荷計画を作成する等労務や経営に寄与できるように努めている。
- 顧問税理士と綿密に調整しながら経営状況の把握と発展に向けて検討を行っている。

(7) その他の特長

- 被災者や若年者、障害者等を積極的に雇用し、地域雇用の受け皿を担っている。
- 東松島市の農業発展のため、研修生受入による若手農業者育成、高齢化により離農した施設等を借り受けしている。

2 これまでの経過

(1) 法人化するまでの特徴的な歩み

東日本大震災の津波により、自宅やハウス・資機材、家族を失ったが、仕事だけでも取り返すとの強い意志で、被災した東松島市内の若手農業者4人で平成

経営のプロフィール

経営概要

- ・きゅうり/トマト (180a)
- ・いちご (140a)
- ・ねぎ (160a)

主な施設・機械の保有

ハウス (320a：赤井ほ場100a, 大曲ほ場20a, 須江ほ場20a, 矢本ほ場20a, 星場ほ場20a, 大曲いちごほ場100a, 矢本いちごほ場40a)

構成員等

構成員4名, 常時雇用8名, パート24名

法人設立年月日

平成23年12月26日

認定農業者認定年月日

平成24年1月31日

資本金

600万円

販売額

9,000万円 (平成25年度)

役員名

代表取締役社長：阿部 聡
専務取締役：佐藤 雄則
常務取締役：武田 真吾, 星名 大地

主な過去の導入事業及び農業制度資金活用

- ・東日本大震災農業生産対策交付金
- ・スーパーL資金

23年12月に設立した。

(2) 法人化の動機や法人設立時の特徴的経過、法人化後の変化

- 営農再開に向けて関係機関とともに事業計画を練り上げ、用地は地元地権者の協力により譲っていただき、施設は東日本大震災農業生産対策交付金によりJAが整備したハウスを借り受けた。
- 市内遊休ハウスを借り受けての栽培、交付金事業によるいちごハウス整備により事業拡大を図っている。

3 今後に向けて

(1) 解決すべき課題と現在検討中(取組中)の対処方策
経営安定のため目標収量を確保しながら、人材育成にも積極的に取り組んでいく。

(2) 今後に向けての経営戦略

農業で地域を盛り上げるため、地元の若者を雇用したり、観光農園や幅広い加工用途があるいちごで6次産業化による新たな事業を展開していきたい。

(調査：石巻農業改良普及センター)

略図



株式会社 イグナルファーム
〒981-0501 東松島市赤井字川前三392
TEL 0225-98-5596
FAX 0225-98-5597
URL <http://www.igunalfarm.com/>
E-mail igunalfarm@gmail.com

視察受入条件

要相談
視察申込は直接当社へ
視察料 1,000円/名